

栃木県及び周辺の地震活動（令和6年5月）

【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は3でした。期間内に県内で震度1以上を観測した地震は7回（前月10回）、震度3以上を観測した地震が1回（前月2回）ありました。

【栃木県及び周辺の地震活動】

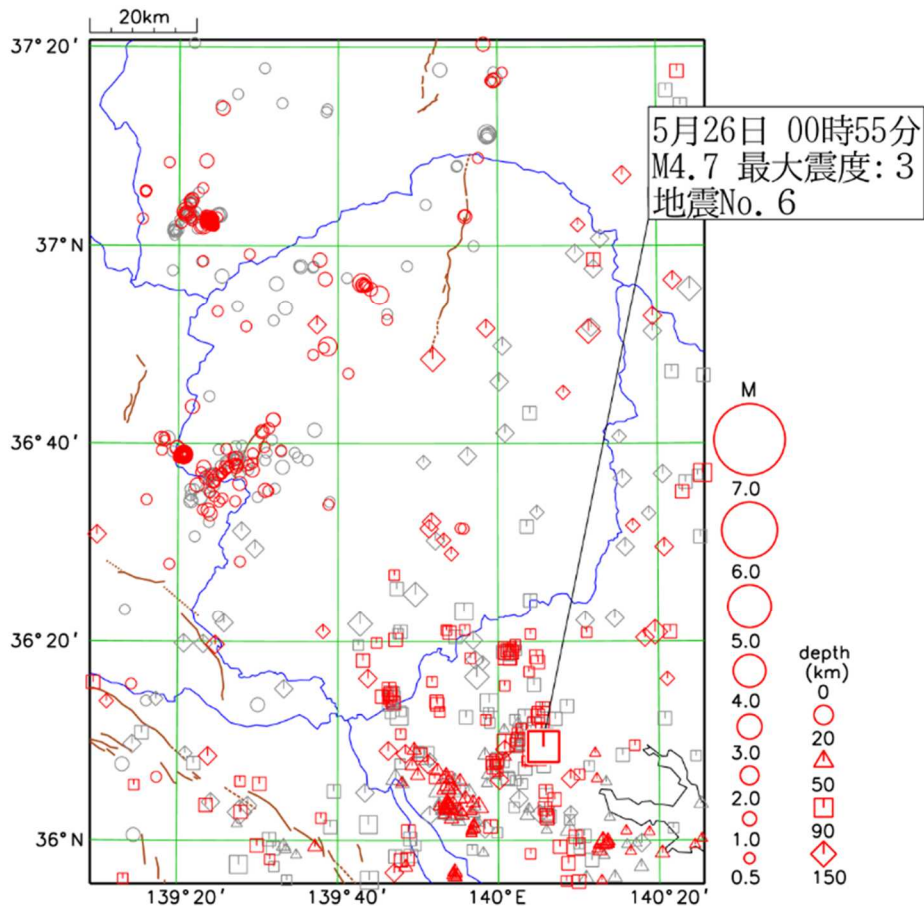


図1 震央分布図（2024年4月1日～2024年5月31日）

- ・今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度3以上を観測した地震及び県内を震源とする震度1以上を観測した地震です。地震No.は県内で震度1以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・Mはマグニチュードで0.5以上、深さ（depth）は150kmまでの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000(行政界・海岸線)』（国土地理院）を加工して作成した。

【5月に県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニチュード	国内最大震度	県内最大震度
	月日	時分							
1	5月10日	8時39分	茨城県南部	36° 04.4'	139° 54.5'	46	3.0	1	1
2	5月18日	9時55分	茨城県沖	35° 55.5'	141° 02.4'	15	4.5	3	1
3	5月19日	0時45分	福島県沖	37° 09.6'	141° 29.1'	42	4.5	3	1
4	5月19日	6時32分	福島県浜通り	36° 52.6'	140° 46.8'	10	3.4	2	1
5	5月22日	6時40分	千葉県北西部	35° 47.3'	140° 05.0'	78	3.7	1	1
6	5月26日	0時55分	茨城県南部	36° 09.4'	140° 05.6'	66	4.7	3	3
7	5月30日	2時14分	東海道南方沖	32° 18.6'	137° 47.2'	405	5.5	2	2

・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>

【震央分布図範囲内の地震】

1. 茨城県南部（地震No. 6）

26日0時55分に茨城県南部で発生した地震（深さ66km、M4.7）により、栃木県をはじめとした関東地方の広い範囲で震度3を観測したほか、東北地方南部と新潟県、関東甲信地方、静岡県で震度2から1を観測しました。栃木県では宇都宮市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、下野市、益子町、壬生町で震度3を、7市町で震度2を、9市町で震度1を観測しました（図2）。

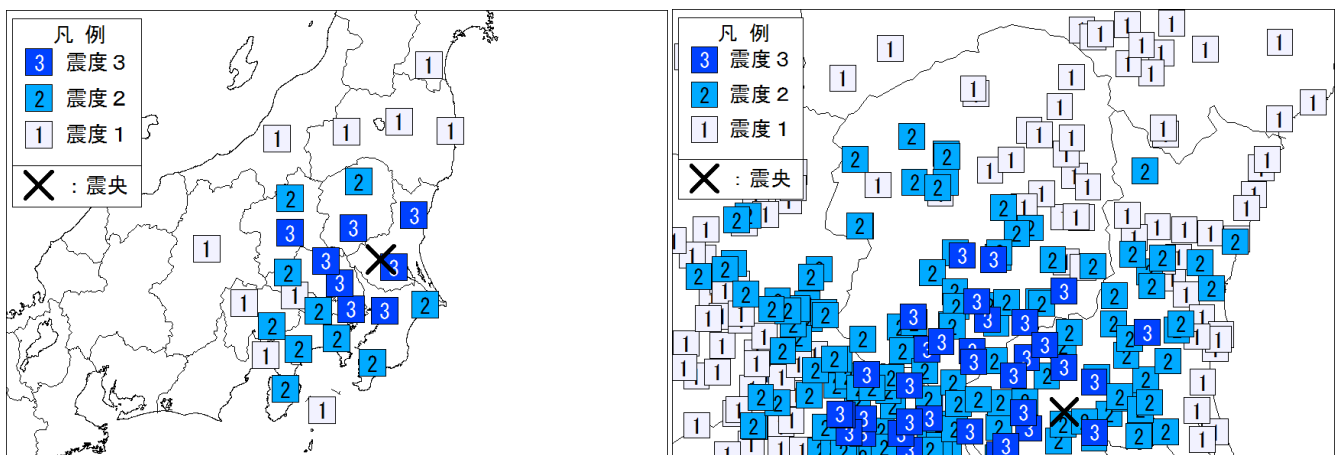


図2 26日0時55分 茨城県南部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度、×：震央

【震央分布図範囲外の地震】

今期間中、県内で震度3以上を観測する地震などの目立った地震活動はありませんでした。

【防災メモ】緊急地震速報の利活用調査について

気象庁では、顕著な地震が発生した際に緊急地震速報のアンケート調査を実施しているのをご存じでしょうか？ アンケートでは、緊急地震速報を見聞きした際の状況や行動、緊急地震速報に関する意見や知識などが調査され、結果は今後の情報改善に役立てられるとともに、気象庁HPにも公表されます。

さて、直近の今年1月1日に発生した令和6年能登半島地震を対象とした予備調査によれば、音や映像で緊急地震速報であるとすぐに認識した方は9割以上にのぼりました（図3）。回答者の年代が20～40代中心であり、60代以上で少ない傾向にあることに注意する必要がありますが、緊急地震速報が世の中にかなり浸透していることがわかります。

一方で、地震防災訓練参加についての質問では、能登地方で震度5弱以上を観測するような地震が発生し始めた2021年9月以降で、新たに地震防災訓練に参加した方は回答者全体の10%弱にとどまりました。能登地方の地震以外でも、この期間は日本全国でたびたび大きな震度が観測される地震が発生し、報道などで知る機会も多かったと思われるのですが、それらを受けて防災訓練に参加してみようと思う方は少ないようです。

防災訓練への参加は何となく敷居が高い、そんな時は気象庁で実施する緊急地震速報を活用した訓練への参加をお勧めします。この訓練は、突然発表される緊急地震速報に対し、「あわてず、まず身の安全を守る」ことを実際に体験してもらうことを目的に実施されるもので、個人で実施する場合はご自身の都合のよい日に訓練することもできます。詳細は下記URLをご覧ください。

・緊急地震速報のアンケート調査

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/shiryo/shiryo.html>

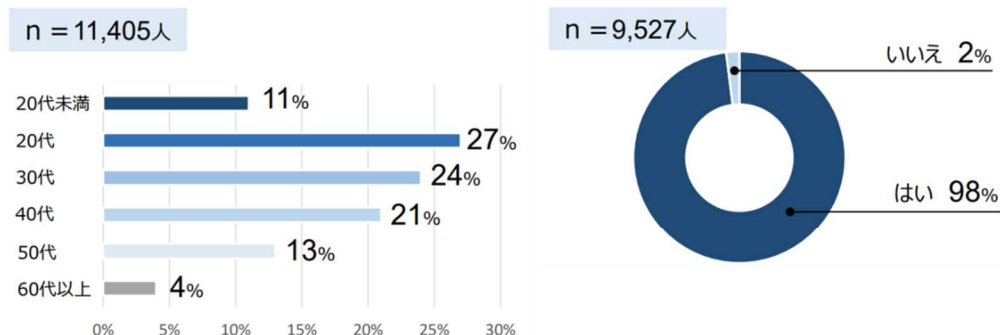
・利活用の予備調査結果（2024年1月1日16時10分頃の石川県能登地方の地震）

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/shiryo/pre-survey/2024/20240101-ishikawa-brief.pdf>

・緊急地震速報を活用した訓練について

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/kunren.html>

Q3. あなたの年齢で当てはまるものを教えてください。 Q12. 音や映像で緊急地震速報であるとすぐに認識できましたか。



Q30. 2021年9月以降、石川県能登地方では震度5弱以上の地震が複数回発生していますが、これまでに地震防災訓練に参加したことはありますか。参加したことがある方は、初めて参加した時期が最も近いものを選択してください。

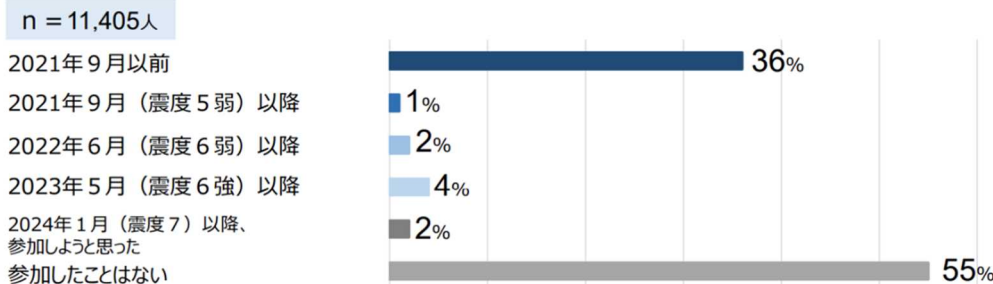


図3 令和6年能登半島地震を対象とした緊急地震速報の利活用予備調査結果（一部抜粋）